

BZ17-144

幼児全聾者の言語認識能力を育てるための コミュニケーションツールの開発パートナー

提案提出期限

- 2017年10月31日

依頼企業の概要

- 株式会社メガネマーケット
- <https://www.megane-market.com>
- 貴社の概要（事業分野、売上規模など）
 - ◇眼鏡並びに補聴器の販売を独立店舗 6 店舗とイオンタウンテナント 1 店舗で行っている。また、眼科医院との提携で処方箋に対応した眼鏡の販売を行っています。
 - ◇千葉県西部と埼玉県東部、中央部に店舗を持ち地域でNo.1 店を目標としています。
 - ◇近時は老人福祉・障害者福祉施設に関与し、社会貢献できる商品の開発等にも注力しています。

提案者にとっての機会（協業形態）

中小企業・大学との想定される協業の形態を下記から選択ください（複数選択可）

<input type="checkbox"/>	部材供給
<input type="checkbox"/>	受託加工
<input type="checkbox"/>	技術ライセンス
<input type="checkbox"/>	受託開発
<input type="checkbox"/>	その他（商品開発と事業化）

求める技術とその背景

- 音声を文字変換し、画像表示する技術、及び文字を音声変換できるツールの開発パートナーを募集します。
- 聴覚障害者のコミュニケーション方法には、手話、指文字、読話、補聴器等があるが、幼児全聾者には有効ではない。そこで、音声を文字に変換し、かつ、文字（名詞）を画像（絵）で表現できる技術、また、文字を音声に変換する技術などを実装したツールの開発を求めます。

想定している用途

- 親や教育者が、幼児全聾者に文字と画像表現を関連付けることでモノの意味を教える場でのコミュニケーションツールとして使用します。

想定されるビジネス規模

- 聴覚障害 1 級並びに 2 級の方は 3000 人程度である。また、幼児全聾者は、更に少数となる。従って、製品（ツール）の販売量などのビジネス規模は限定的ではあるが、障害者を支援する事業としての社会的意義は大いに期待できます。

開発スケジュール

- 親や教育者のニーズ把握・分析なども含めて、開発期間は 1 年程度を想定しています。

対象とするアプローチ例（下記に限らない）

- 大学・研究機関、または、企業との共同研究のスキームでツールを開発します。使用者としての親や教育者のニーズ把握・分析、及び、テストマーケティングについては当社が行い、技術検証や開発などは大学、企業に委託します。

留意点

- 幼児の全聾者が人生を歩む上で、初期段階の言語認識を育成・支援するためのツールの開発です。音声を文字に変換する音声認識技術や製品は既に存在しているが、幼児であるがゆえに文字を理解できないため、文字と実態としてのモノや行為を関連付けられる付加価値のツールが必要です。
- 初版の開発から完璧なツールを求めるものではなく、スパイラル型の開発手法を採用します。要求分析、開発、テストを繰り返す中で仮説を検証して、真に有効なツールを開発したい。開発費用は、クラウドファンディングなどを検討しています。

BIZ SAITAMA の概要、提案方法はこちらの URL をご覧ください

http://biz-saitama.jp/exhibition_entry.html

【事務局】

- **BIZ SAITAMA** 実行委員会事務局：さいたま市産業創造財団
<http://www.sozo-saitama.or.jp/>
- 商談会に関するサポート：株式会社ナインシグマ・ジャパン
<http://www.ninesigma.co.jp/>

【問い合わせ窓口】

- メール：biz-sai9@sozo-saitama.or.jp
- 電話：03-3219-2006（ナインシグマ・ジャパン：BIZ SAITAMA 担当宛）